

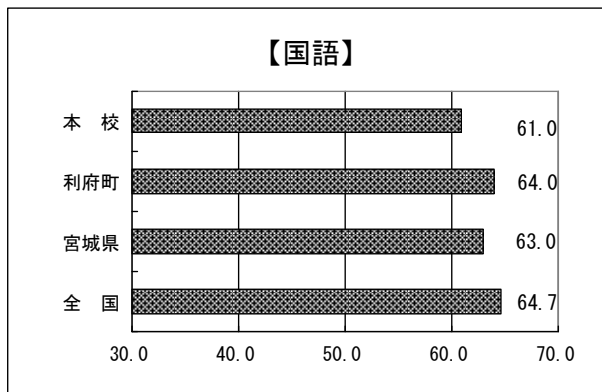
令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

5月27日（木）に、全国の公立小学校に通う6年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が各校に8月末に届きました。これに基づいて、この度、本校の児童の学習や生活の状況について、よさや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、個人票もあわせてお渡しいたしますのでお読みいただき、お子さまのこれからの学習と生活の改善に役立てていただきますようお願い申し上げます。

1 学力調査の結果

【国語】 平均正答率%

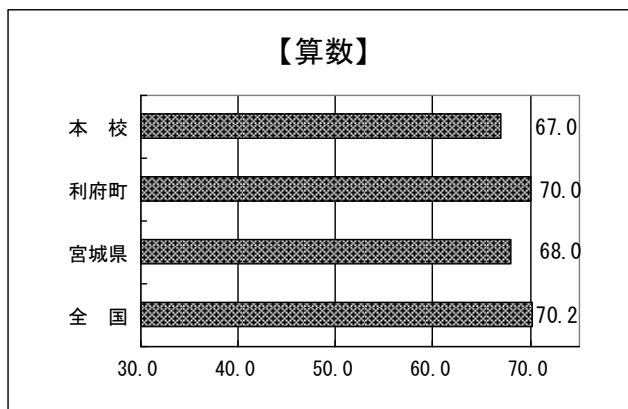


- ・ 国語については、全国の平均正答率を3.7pt下回っており、学習指導要領の内容である「知識・技能」は2.2pt、「思考力・判断力・表現力等」は5.5pt低く、課題となりました。
- ・ 内容別に見ていくと、全国正答率との比較では「話すこと・聞くこと」で2.2pt、「読むこと」では4.5pt下回りました。特に「書くこと」は11.8ptも低く、大きな課題となりました。

具体的な学習状況 (◎ よくできていた点 ● 課題として挙げられる点)

- ◎資料とスピーチ原稿を比較し、条件に沿って望ましい選択肢を選ぶ問題は全国、県平均を上回りました。【問題1の三】
- ◎文章全体の構成を捉え、中心となる内容を把握する問題は、高い正答率でした。【問題2の一】
- ◎文中における修飾と被修飾（副詞と連用修飾語）との関係を捉える問題では全国、県平均を上回りました。【問題3（2）】
- 資料を読み、3つ以上の条件と字数制限がある記述式の問題が課題となりました。【問題2の三・3の二】
- 文中で漢字を正しく使う問題（書き取り）が課題です。（転がす／積み重ね／原因）【問題3の三（1）ア・ウ・エ】

【算数】 平均正答率%



- ・ 算数については、全国の平均正答率を3.2pt下回りました。学習指導要領の内容である「知識・技能」は0.5pt、「思考力・判断力・表現力等」は0.9pt低い状態ですが、ほぼ全国と同等の結果となりました。
- ・ 領域等の平均正答率では、全国正答率を下回ったものの、「変化と関係」の項目は、1.7pt下回るにとどまり県平均を上回りました。一方、その他の4領域では、全国との差があります。

具体的な学習状況 (◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点)

- ◎速さが一定で、それを基に道のりと時間の関係を考察する問題は全国・県正答率を上回りました。【問題1の（2）】
- ◎基準量を1としたとき比較量が小数となる理由を記述する問題の正答率が高かったです。【問題4の（3）】
- 二つの道のりの差を求める問題【問題1の（1）】と直角が上部に配置された直角三角形の面積を求める問題【問題2の（1）】の正答率が全国を10pt前後下回りました。
- データから資料の特徴や傾向を読み取り、それを二次元表に分類整理したり、集団の特徴を捉える問題の正答率が課題となりました。【問題3の（3）（5）】

2 今後の取組について

(1) 国語

- 国語科をはじめ、各教科で「読むこと」「自分の考え書くこと」「自分の思いを話すこと」を大切に指導を進めていきます。
- 漢字の読み書きの更なる習熟を図り、特に漢字は文脈の中で使えるように、日頃から練習を積み重ねていきます。
- 字数制限やキーワードの使用などの条件を満たして文章を書く力を高めていきます。

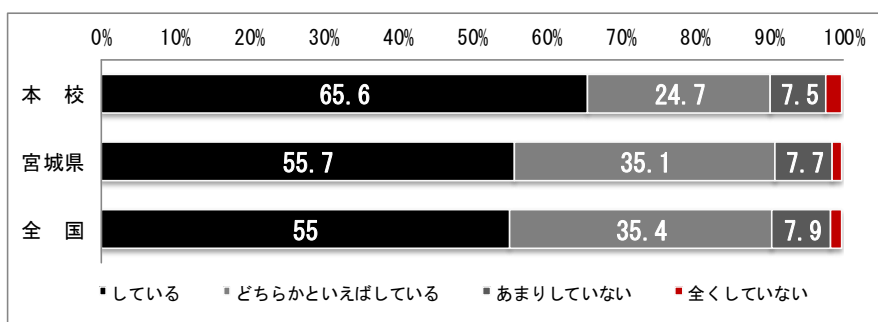
(2) 算数

- 課題を明確に提示し、何について考え学んでいるのかを意識させる授業づくりをしていきます。
- 授業の中での習熟場面はもちろん、朝のスキルタイムや宿題プリントなどを通し、計算力の向上や基本問題の確実な解決など基礎基本の習得を図ります。
- 学習時間に意図的に自分の考えを書く場面や、互いに話したり、聞いたりする場面を設定し、筋道を立てて考え、相手に説明する力と学び合いの姿勢を向上させていきます。

3 学習状況調査の結果

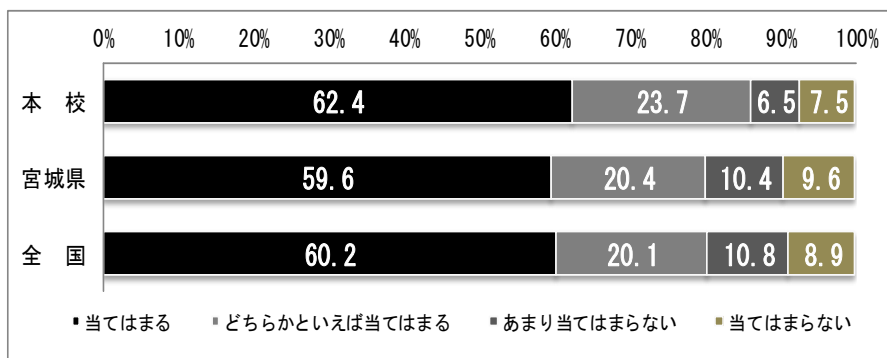
(1) よい傾向が見られる項目

※同じ時刻に起床しているか（基本的な生活習慣）



起床時刻が一定している児童が約90%、これに関連して就寝時刻の一定や朝食を食べる割合も高く、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かります。このよい面を見守りながら、規範意識の醸成や自己肯定感の育成、学習内容の確実な定着など他の面に波及できるように指導していきます。

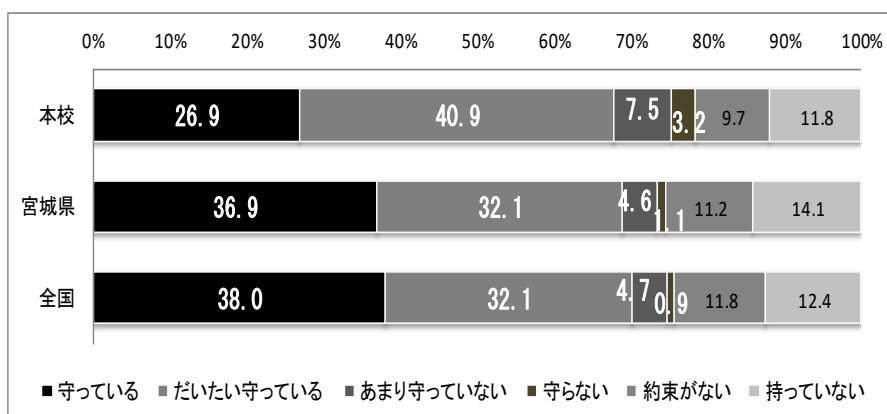
※将来の夢や目標を持っているか（キャリア教育）



将来の夢や目標をもっていると回答している児童が約86%います。全国・県と比較しても利府小の児童は、毎日を前向きに考え、未来に希望を持って生活していることがうかがえます。キャリア教育が推進されている今日、引き続き、児童の興味や好奇心を大事にした指導を心掛けていきます。

(2) 改善が必要と思われる項目

※携帯・スマホ・PCの使い方の約束を守っているか（ICTに関するルール）



これらの機器の使用に関する「約束を守らない」、「ルール自体が無い」割合が多い現状です。関連してゲームをする時間も全国と比較しても長く、望ましい状態ではない傾向が見られます。学校でも指導しますが、今一度ご家庭でも使用の際のルールの確認やゲームの時間の設定と学習環境の整備にご協力をお願いします。